

社名・店名ご入力欄

店舗情報ご入力欄

モノがあふれる家から脱却するには？ 大切なモノとすっきり暮らす整理術

7月5日は
プラチナエイジの日
「収納リフォーム」
を考える

思い出の写真やお土産、お返しにもらったギフト用品、捨てるのが惜しいブランドの手提げ袋……。日々、モノは増えるばかり。無理に手放すのではなく、スペースを活用して整理しませんか？

「全て出す」「分別する」が整理のポイント！

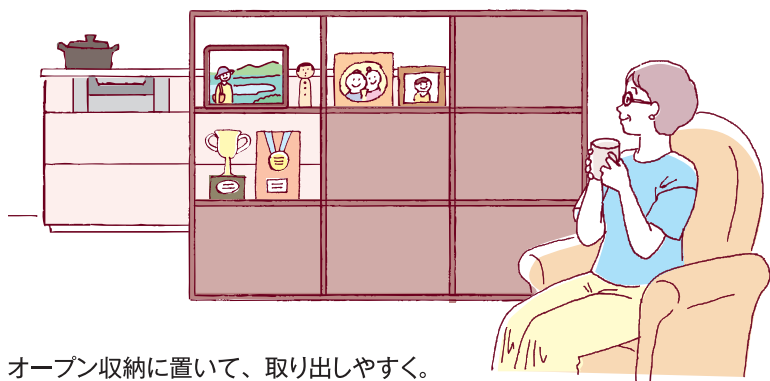
1 全て出す まず、整理したいものを全て取り出しましょう。何をどれだけ持っているか把握することが大切です。

2 分別する 次の2グループに分けて、それぞれに合った収納場所へ。定位置ができれば、探す手間も減らせます。

見せる収納で、暮らしのそばに。

例：家族の写真、趣味のコレクションアイテム

- 頻繁に使う、何度も手に取って見返したい
- 飾っていつでも見れるようにしたい
- インテリアになじむ ●小さくてディスプレイしやすい



オープン収納に置いて、取り出しやすく。
見える場所にお気に入りのモノがあると、暮らしの彩りにも。



「キュービオス」なら、収納物にあわせて自由にプランニング。オープン棚の配置もお好みで決められます。



壁、床、天井まで設置可能な「フレームシェルフ」。小物や書籍を置くだけでおしゃれなインテリアに。

隠す収納で、大切に守る

例：スーツケース、スノーボード

- 季節やタイミングに応じて使う、時々見れば十分
- 見えるところに置きたくない
- インテリアになじまない ●大きくてかさばる



独立した子どもの部屋を、収納部屋に。
1か所にまとめると探しやすく、普段は閉めて隠せます。



「アイシェルフ」はパーツを自由に組み合わせられるため、収納空間を使い勝手よくアレンジできます。



生活空間に隠し収納をつくるなら、「量が丘」。量の下に季節のアイテムやかさばるモノをしまえます。

まずは、ご検討いただけるような資料をお届けいたします。

資料請求・お問い合わせは当ショップまで



リフォームのことなら
お気軽にショップへ
ご相談ください。

リフォームで解決！あなたの街のPanasonicリフォームClubにおまかせください。